

発信力と体制整備 九州大学病院 IPAC 国際化への軌跡

参加
無料

お申し込みはこちら！

こちらのQRコードから
お申し込み頂けます



昨今、在留外国人の受診や、在外邦人を含む国際患者からの受入相談は増加傾向にあり、医療機関における国際対応はますます急務となりつつあります。

本セミナーでは、九州大学病院 国際診療支援センター（International Patient Support Center、略称：IPAC「アイパック」）にて、長年国際患者の受入れサポートに取り組む医師や医療通訳者より、JMIP 認証を含む体制整備の道のりや、医療通訳者としての日常を具体的な業務内容や症例を踏まえご説明いたします。

さらに、患者、特に外国人患者に選ばれるために医療機関が意識するポイントについて、研究・教育活動を世界に戦略的に発信するレピュテーション・マネジメント（RM）を専門とする、九州大学 SHARE オフィスの教授よりご紹介いたします。

講演後のクロストークの中では、ご参加いただく皆様からの質問にもお答えしていきます。

2月14日 火
14:00 ~ 15:50

オンライン開催
(Zoom)

こんな人におすすめ！

- 全国の外国人患者受入れ体制整備を行っている、あるいは体制整備に関心のある医療機関の経営者・事務長その他医療スタッフ及び自治体・地域の関係者の方
- 医療通訳やコーディネーターを目指す方
- 国際医療や国際的取組みに興味のある学生や一般の方

セミナープログラム

14:00-14:05 開会挨拶

九州大学病院 副院長、九州大学総長補佐
国際医療部長（兼国際診療支援センター長）
中島 直樹

第1部
14:05-14:20 九州大学病院国際診療支援センター発足
から今日までの道のり

九州大学病院 国際診療支援センター 専任医師
相良 理香子

第2部
14:20-14:50 九州大学病院における医療通訳者の役割

九州大学病院 国際診療支援センター 医療通訳（英語担当）
有田 奈未
九州大学病院 国際診療支援センター 医療通訳（中国語担当）
祁 潔

第3部
14:50-15:20 国際診療支援とレピュテーション・
マネジメント

九州大学 SHARE オフィス 教授
廣瀬 武志

第4部
15:20-15:50 クロストーク&質疑応答

お申し込み・
お問い合わせ

https://info.mediphone.jp/seminarform_230214
メディフォン株式会社（担当：柳田、西江、佐保田、小峰）
電話：050-3171-8522（平日 9:00-18:00）
メール：training@mediphone.jp